

このコーナーは市内のいろいろな出来事を紹介するコーナーです。皆さんの身近な出来事をお知らせください。

◆連絡先
安芸高田市 政策企画課
TEL 42-5612
〒731-0592
安芸高田市吉田町吉田791番地



情感溢れる音楽に華麗なダンスを乗せて タンゴ・ロマンス

11月21日(土)、タンゴ公演がクリスタルアージュで開催されました。バンドネオン・バイオリン・ピアノが織りなす情感溢れる音楽と、複雑なステップを踏みながらもエレガントなダンスが融合したタンゴ公演は、多くの観客を魅了。一度は聞いたことのあるようなタンゴの名曲もあり、世界各地でツアーを行うダンサー達のレベルの高いタンゴに、大きな拍手が送られていました。今回のタンゴ公演は衣装やダンサーが曲目ごとに変わるなど構成にも工夫が凝らされており、タンゴ公演を余すことなく楽しむことができました。



老若男女が自然を楽しみながら快走 第38回土師ダム湖畔マラソン大会

11月23日(月・祝)、土師ダム周辺で、土師ダム湖畔マラソン大会が開催されました。当日は約650名のランナーが参加し、ハーフ(公認コース)・10km・3km・1kmのコースに分かれてスタート。1kmのコースは親子がペアになって走り、最後は仲良く手を繋いでゴールしていました。ハーフでは、一番早いランナーは1時間16分でコースを走り切るなど、日頃の練習の成果を十分に発揮。例年にはない暖かい気候の中、自然を感じながらマラソンを楽しみました。



現代に残された安芸高田の戦国 シンポジウム「山城を語る」

11月23日(月・祝)、クリスタルアージュにおいてシンポジウム「山城を語る」が開催され、330名の山城ファンが集まりました。平成22年4月から現在まで広報あきたかたに掲載されている、シリーズ「お城拝見!」によって調査された、中世戦国期の山城60か所のデータを基に、山城を巡る新解釈などについて活発な議論が交わされ、聴講者は熱心に聞き入っていました。シリーズ「お城拝見!」の連載はお休みとなりますが、調査内容を取りまとめた冊子「安芸高田お城拝見」を1,200円で好評発売中です。



第9回あきたかた市民文化祭【舞台芸能の祭典】 けんみん文化祭ひろしま'15

11月29日(日)、市民総勢363名が出演するあきたかた市民文化祭 舞台芸能の祭典がクリスタルアージュで開催されました。民謡民舞、合唱、フラダンス、ヒップホップなど、さまざまなジャンルの芸能を、全40団体の各出演者は思い思いに披露。息のそろった所作を見たり美しいハーモニーを聞いて、来場者は惜しみない拍手を送っていました。出演が終わった団体の皆さんは、充実した表情を浮かべられていました。



神楽団員が憧れる最高峰の舞台 ひろしま神楽グランプリ2015

11月28日(土)、各地の競演大会で優勝した神楽団が集結し、今シーズン1番の舞を決める大会、ひろしま神楽グランプリ2015が神楽門前湯治村神楽ドームで開催されました。競演の部では、安芸高田市からはもちろん、北広島町、安芸太田町、広島市、廿日市市の神楽団が出演。特別出演では、庄原市の比婆荒神神楽社、島根県大田市の大屋神楽社中が出演するなど、普段見ることができない神楽も堪能することができました。冬の寒さを吹き飛ばすほど、各神楽団が舞う渾身の舞は、観客の胸を熱くしました。

【ひろしま神楽グランプリ2015 結果】
新舞の部グランプリ 横田神楽団(安芸高田市)「紅葉狩」(写真左)
旧舞の部グランプリ 津浪神楽団(安芸太田町)「鐘馗」(写真右)



世界にはいろいろな文化がある・・・ 多文化共生授業

11月19日(木)、高宮中学校の3年生を対象に、「多文化共生授業」が開催されました。この取組は、県立広島大学と市が包括協定を締結している、地域戦略協働プロジェクトの一環として、3年前から取り組まれています。本年度は既に3校で開催されており、高宮中学校が最後の実施校となりました。受講した生徒は4校で98名。講師は、広報で多文化共生コラムを連載している、県立広島大学准教授上水流 久彦さん。上水流さんは「文化に優劣はない」と時には楽しく、時には真剣に子どもたちに語りかけ、子どもたちも真剣に受け止めていました。



激走! 快走! たすきをつなげ! 第3回川村毅杯安芸高田市小学校駅伝競走大会

11月21日(土)、吉田運動公園周辺コースにおいて、第3回川村毅杯安芸高田市小学校駅伝大会が行われ、市内13小学校から23チームがエントリーし、5区間計7.5kmでたすきをつなぎました。レース前には、アテネオリンピック女子マラソン入賞者の坂本 直子さんによる陸上教室も開催されました。各小学校はこの大会までにマラソン記録会、駅伝部の設立などで体力面の強化やチームワーク強化を図ってきました。チームを背負い緊張の中走り終えた後は、子どもたち全員に豚汁が振舞われ、笑顔で健闘を称え合っていました。